

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業 1	046	0 1 0 4 0 2 0 1
事業 2	020	美化推進事業費	事業 3	001	美化推進費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 美化意識の高揚及び生活環境の保全
- ・内容 「はだの環境月間」(6月1日～6月30日)の関連事業である「ごみゼロクリーンキャンペーン」の実施
自治会や清掃ボランティア等による清掃ごみの回収等の支援
ごみのポイ捨てを防止するための啓発及びパトロール
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 きれいで快適な生活環境が確保される。
- ・目標値 市民の環境美化意識の高揚を図るとともに、協働による取組を推進し、衛生的で快適な生活環境の保全に努める。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、秦野市ごみの散乱防止等に関する条例、環境基本条例
- ・計画 総合計画(基本施策315 きれいで快適な生活環境の確保)、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
令和6年度決算 事業費(進捗率) : 8,948千円
令和7年度予算 事業費(進捗率) : 10,957千円
令和8年度予算 事業費(進捗率) : 10,956千円
令和9年度以降 事業費(進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 ごみゼロクリーンキャンペーン 計画日:6月2日※雨天中止
はだの環境月間(6月) 環境美化やポイ捨て防止の啓発のため、市内4駅駅前広場にのぼり旗を設置
市内一斉美化清掃 実施日:9月8日 回収量:31,611kg
- ・令和7年度 ごみゼロクリーンキャンペーン 実施日:6月1日 回収量:約126kg
はだの環境月間(6月) 環境美化やポイ捨て防止の啓発のため、市内4駅駅前広場にのぼり旗を設置
市内一斉美化清掃 実施日:9月7日 回収量:29,199kg

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	020	美化推進事業費	事業3	001	美化推進費

ごみのポイ捨てを防止するため、市内環境美化重点地区を中心に啓発及びパトロールを継続する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市内における企業への美化清掃の呼びかけを行い、本市の生活環境の保全を図る。

ごみのポイ捨てを防止するため、小田急線4駅周辺の環境美化重点地区を中心として環境美化指導員による啓発及びパトロールを継続する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

会計年度任用職員の任用更新に伴う報酬、職員手当等及び健康診断委託料の増額。（312千円）

会計年度任用職員の共済費の減額。（△206千円）

市内一斉美化清掃における草木類の中間処理量を実績値に応じて見直したことにより、委託料を減額したため（△102千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度市内一斉美化清掃 草木類回収及び中間処理量：30,370kg

令和6年度市内一斉美化清掃 草木類回収及び中間処理量：31,230kg

令和5年度市内一斉美化清掃 草木類回収及び中間処理量：38,040kg

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市民、事業者、各種団体等との協働による環境美化活動を推進するため、美化清掃やボランティア登録の呼びかけを継続する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	020	美化推進事業費	事業3	002	不法投棄防止対策費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 ごみを不法投棄させないための環境整備
- ・内容 看板の設置などによる不法投棄防止の啓発
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 きれいで快適な生活環境が確保される
- ・目標値 不法投棄の通報件数134件以下

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、秦野市ごみの散乱防止等に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策315 きれいで快適な生活環境の確保）、秦野市ごみ処理基本計画、秦野市環境基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 817千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 847千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 815千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 遠隔監視カメラ及びトレイルカメラの設置、既存監視カメラの維持、不法投棄防止柵の修繕、神奈川県、秦野警察、事業者等との連携による不法投棄パトロール及び撤去作業
- ・令和7年度 遠隔監視カメラ、トレイルカメラ及び既存監視カメラの維持、不法投棄防止柵の修繕、神奈川県、秦野警察、事業者等との連携による不法投棄パトロール及び撤去作業

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・繰り返し投棄される場所へのパトロールの強化や不法投棄物の撤去だけでなく、土地所有者や周辺自治会の協力による草刈等の不法投棄されないための環境整備が必要である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・不法投棄させないための環境整備や監視カメラ等の機械警備による未然防止に努める。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業 1	046	0 1 0 4 0 2 0 1
事業 2	020	美化推進事業費	事業 3	002	不法投棄防止対策費

- ・不法投棄パトロール及び職員や不法投棄防止キャンペーン実行委員会による定期的な撤去を実施する。
- ・地域と連携し、ごみ収集場所への不適正排出の防止を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・看板等の配布数の減少に伴う消耗品費の減額（△25千円）
- ・監視カメラ修繕内容の変更に伴う修繕料の減額（△2千円）
- ・原材料の在庫調整に伴う原材料費の減額（△5千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和7年度 不法投棄防止美化キャンペーンとして不法投棄物撤去作業2回実施
- ・令和6年度 不法投棄防止美化キャンペーンとして不法投棄物撤去作業2回実施
- ・令和5年度 不法投棄防止美化キャンペーンとして不法投棄物撤去作業2回実施

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・不法投棄させないための環境整備を推進するとともに、監視カメラ等の機械警備の適正な運用に努める。
- ・県と連携を密に取りながら、秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会の構成員である市、警察及び企業が一体となり、不法投棄の未然防止に努める。
- ・土地所有者及び周辺自治会と連携し、草刈等により適正管理を促進することで、不法投防止に向けた環境整備を推進する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業 1	049	0 1 0 4 0 3 0 1
事業 2	010	秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金	事業 3	001	秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野市伊勢原市環境衛生組合によるごみ処理施設及び葬祭施設の設置及び管理に関する事務の遂行
- ・内容 秦野市伊勢原市環境衛生組合の組合経費に対する分担金の支出
- ・SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野市伊勢原市環境衛生組合によるごみ処理施設及び葬祭施設の安定的な運営
- ・目標値 はだのクリーンセンター1施設による安定した処理を継続して実施するため、焼却対象量を年間処理能力の秦野市分の基準としている33,600 t 以下を維持する

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市伊勢原市環境衛生組合規約第12条
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野・伊勢原ブロックごみ処理広域化実施計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 - ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,182,698千円
 - ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：964,158千円
 - ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：1,076,516千円
 - ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 ごみ処理施設及び葬祭施設に関する組合経費を伊勢原市とともに支出
- ・令和7年度 ごみ処理施設及び葬祭施設に関する組合経費を伊勢原市とともに支出

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

はだのクリーンセンター1施設による焼却体制となり、安定した処理を継続して実施するために、焼却対象量を本市分の年間処理能力の秦野市分の基準である33,600 t 以下を維持する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

ごみ処理施設及び葬祭施設に関する組合経費を伊勢原市とともに支出する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業 1	049	0 1 0 4 0 3 0 1
事業 2	010	秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金	事業 3	001	秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・保健衛生費 斎場費 斎場の修繕による増額 (8, 278千円)
- ・清掃費 工場費 伊勢原清掃工場の修繕による増額 (73, 465千円)
- ・清掃費 クリーンセンター費 はだのクリーンセンターの安全管理審査の実施による増額 (147, 932千円)
- ・議会費 令和8年度は議会の視察予定がないため減額 (△748千円)
- ・総務費 安全管理審査に伴う炉の停止による売電積み立ての減額 (△5, 924千円)
- ・清掃総務費 職員の減少による人件費の減及びごみ質分析検体数の減少による減額 (△4, 091千円)
- ・公債費 クリーンセンター分の内1つが終了したことによる減額 (△11, 912千円)

(2) 根拠(定量データ(過去3か年程度の実績(申請(交付)件数))等)

- ・令和6年度 1, 182, 698千円
- ・令和5年度 1, 094, 305千円
- ・令和4年度 1, 205, 506千円

7 今後の取組方針(事業の必要性、方向性・改善方法)[A]

はだのクリーンセンター1施設での焼却処理体制を安定して継続するため、秦野市伊勢原市環境衛生組合及び伊勢原市とともに、継続して可燃ごみの減量、資源化に取り組む。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組(歳入確保・歳出削減)
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業1	049	01040301
事業2	020	環境資源センター維持管理費	事業3	001	環境資源センター維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 職員の安全・安心な環境での職務遂行
- ・内容 環境資源センター事務所及び付属する諸施設の維持管理並びに施設内の必要な修繕等の実施
- ・SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

(2) 効果・目標値

- ・効果 施設の適正な維持管理により、職員の職務環境整備及び来所する市民の安全確保
- ・目標値 利用者の安全確保と職員の安全な職務遂行のため、維持管理業務の効率化と質の向上を両立する。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市庁舎管理規則
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 8,220千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 9,203千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 12,713千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 清掃や警備委託など施設の維持管理及び施設の軽微な修繕
- ・令和7年度 清掃や警備委託など施設の維持管理及び施設の軽微な修繕

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・清掃や警備委託、修繕等を行うことにより、施設の適正な維持管理ができています。
- ・施設を継続して使用するため、老朽化に伴う修繕が必要な箇所がある。
- ・計画的な修繕を行うほか、日々巡視を行い、危険を伴う緊急性がある所は優先的に修繕等を行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・環境資源センター事務所棟及び付属する諸施設の適正な維持管理を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業1	049	01040301
事業2	020	環境資源センター維持管理費	事業3	001	環境資源センター維持管理費

- ・ 育休代替による会計年度任用職員の1名増に伴う報酬、職員手当等及び共済費の増額（3,391千円）
- ・ 使用実績に基づく燃料費の減額（△44千円）
- ・ 水道・電気の使用実績に基づく光熱水費の増額（113千円）
- ・ 事業内容の見直し及び実績に基づく修繕料の減額（△31千円）
- ・ 消防用設備保守点検料の増額、基本回線使用料の料金改定に基づく通信運搬費の増額（49千円）
- ・ 環境資源センター清掃委託の契約更新による委託料の増額（57千円）
- ・ 公共下水道使用料の実績、NHK受信料の契約台数の減少に基づく使用料賃借料の減額（△66千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和7年度 委託料：1,892,220円
- ・ 令和6年度 委託料：1,888,920円
- ・ 令和5年度 委託料：1,943,666円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

- ・ 光熱水費の削減に努めるとともに、修繕等を要する箇所を早期に発見することにより、施設内の安全確保に努める。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業 1	049	0 1 0 4 0 3 0 1
事業 2	030	最終処分場跡地整備費	事業 3	001	最終処分場跡地整備費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 最終処分場内の雨水を敷地外へ適切に排出する。また、周辺民家の井戸水への影響を調査する。
- ・内容 析窪一般廃棄物最終処分場跡地の人孔清掃、周辺民家の井戸水の水質検査を実施する。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に

(2) 効果・目標値

- ・効果 最終処分場跡地の人孔清掃、井戸水の水質検査を実施することで周辺民家への影響を把握する。
- ・目標値 地下水の基準値以下の水質保持

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 環境基本法
- ・計画 総合計画（基本施策315 きれいで快適な生活環境の確保）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：209千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：246千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：273千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 適正な管理のための人孔清掃、水質検査の実施
- ・令和7年度 適正な管理のための人孔清掃、水質検査の実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

析窪一般廃棄物最終処分場跡地の人孔清掃、水質検査の実施により、施設の適正な管理を行っている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

析窪一般廃棄物最終処分場跡地内の人孔清掃、水質検査を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

物価の高騰に伴う単価の上昇による委託料の増額。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業1	049	01040301
事業2	030	最終処分場跡地整備費	事業3	001	最終処分場跡地整備費

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和7年度 人孔清掃（3箇所、年1回）、地下水質検査の実施（年1回）
 令和6年度 人孔清掃（3箇所、年1回）、地下水質検査の実施（年1回）
 令和5年度 人孔清掃（3箇所、年1回）、地下水質検査の実施（年1回）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

析窪一般廃棄物最終処分場跡地は、災害廃棄物の仮置場としても位置付けられており、引き続き人孔清掃及び水質検査を継続して行うことで、周辺への安全を確保する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
 ・内 容 災害廃棄物の仮置場として位置付けし、災害時には仮置場として利用する。
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業 1	049	0 1 0 4 0 3 0 1
事業 2	040	清掃事業事務費	事業 3	001	清掃事業事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 廃棄物全般に係る諸課題に対する調査研究による廃棄物の減量及び資源化の推進
名水はだの富士見の湯の割引券の配布による周辺自治会への還元
- ・ 内 容 関係団体への負担金及び調査研究のための旅費など、清掃事務を円滑に実施するための事務経費
名水はだの富士見の湯の割引券の作成及び配布
- ・ SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 分別の徹底による可燃ごみの減量及び資源化の推進を図る。
- ・ 目 標 値 はだのクリーンセンター1施設による安定した処理を継続して実施するため、焼却対象量を年間処理能力の秦野市分の基準としている33,600 t 以下を維持する。

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・ 計 画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率） : 756千円
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率） : 816千円
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率） : 804千円
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・ 令和6年度 清掃事業や廃棄物減量関係の各協議会との連絡調整などにより、廃棄物の適正処理やリサイクルに関する調査、研究を実施する。
- ・ 令和7年度 清掃事業や廃棄物減量関係の各協議会との連絡調整などにより、廃棄物の適正処理やリサイクルに関する調査、研究を実施する。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・ はだのクリーンセンター1施設による焼却体制となり、安定した処理を継続して実施するために、焼却対象量を本市分の年間処理能力の秦野市分の基準である33,600 t 以下を維持する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	01	清掃総務費	事業1	049	01040301
事業2	040	清掃事業事務費	事業3	001	清掃事業事務費

- ・清掃事業や廃棄物減量関係の各協議会との連絡調整などにより、廃棄物の適正処理やリサイクルに関する調査、研究を実施する。
- ・名水はだの富士見の湯の割引券を作成し、周辺自治会に配布する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・説明会がオンライン開催へ変更、一部会議を秦野市内で開催するため旅費を減額（△9千円）
- ・実績に基づくコピー代減額等による消耗品費の減額（△14千円）
- ・物価高騰による印刷製本費の増額（31千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等） 該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・廃棄物の減量及び資源化に向けて、廃棄物の適正処理やリサイクルに関する調査、研究を実施する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	010	廃棄物対策審議会経費	事業 3	001	廃棄物対策審議会経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第19条に基づき、一般廃棄物の減量、資源化及び適正処理の推進に関する事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議を行い、その結果を答申し、又はその意見を建議する。
- ・内容 市民、事業者、学識経験者等で組織する秦野市廃棄物対策審議会を設置し、一般廃棄物の減量、資源化及び適正処理の推進に関する市長の諮問事項を審議し、答申する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 一般廃棄物の減量、資源化及び適正処理の推進
- ・目標値 秦野市ごみ処理基本計画に掲げる目標値

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
令和6年度決算 事業費（進捗率）：225千円
令和7年度予算 事業費（進捗率）：377千円
令和8年度予算 事業費（進捗率）：442千円
令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 令和7年度から実施のプラスチック一括回収に伴う報告
- ・令和7年度 プラスチック一括回収の実績報告、ごみ処理基本計画中間見直しに向けた審議

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

女性委員の登用促進に努める。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

ごみ処理基本計画の中間見直し時期となるため、次期ごみ処理基本計画の諮問、審議を行う予定。（令和8年5月、10月、2月）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	010	廃棄物対策審議会経費	事業 3	001	廃棄物対策審議会経費

の3回開催予定)

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和8年度はごみ処理基本計画の中間見直し時期であるため、廃棄物対策審議会を3回実施する予定としており、委員報酬の単価が上昇したことにより報酬が増額（53千円）し、また令和7年度の委員の改選に伴い旅費が増額（12千円）となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

5月 第1回審議会 委員委嘱、昨年度振り返り、ごみ処理基本計画の改定スケジュール確認
10月 第2回審議会 組成分析調査結果及びごみの推計量を踏まえ、改定素案について審議
2月 第3回審議会 パブリックコメントを踏まえて審議

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

適正かつ効率的な組織運営を図っていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	020	塵芥収集費	事業 3	001	塵芥収集車維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市が保有する塵芥収集車両等の安全な運行及び安定的な収集運搬業務の遂行
- ・内容 可燃ごみ、草木類、プラスチック等の収集運搬のための塵芥収集車両等の適正な維持管理
- ・SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 13 気候変動に具体的な対策を

(2) 効果・目標値

- ・効果 塵芥収集車両等の適切な維持管理による、可燃ごみ、草木類、プラスチック等の安定的な収集運搬
- ・目標値 市が保有する塵芥収集車両等の安全な運行及び効率的な維持管理

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画（収集運搬計画）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 - ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：22,607千円
 - ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：23,046千円
 - ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：21,948千円
 - ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市が保有する塵芥収集車両等の安全な運行及び効率的な維持管理
- ・令和7年度 市が保有する塵芥収集車両等の安全な運行及び効率的な維持管理

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

塵芥収集車両等の安全な運行のために技能職員への車両状態の聞き取りを実施し、点検及び整備により適正な維持管理に努めているが、社会情勢の変化により計画的な車両更新が困難である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

塵芥収集車両等は納車までに相当な期間を要するため、収集業務に支障がないように社会情勢を踏まえた上で、車両の更新を図る。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	020	塵芥収集費	事業 3	001	塵芥収集車維持管理費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

- ・車両消耗品の見直しに伴う消耗品費の減額（△22千円）
- ・実績に基づく算出に伴う燃料費の減額（△358千円）
- ・車両修繕内容の見直しに伴う修繕料の減額（△29千円）
- ・塵芥収集車両の減少による保険料及び使用料賃借料の減額（△689千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和7年度 保有台数：ハイブリッド車9台 ディーゼル車1台、ガソリン車2台 総計12台
- ・令和6年度 保有台数：ハイブリッド車9台 ディーゼル車1台、ガソリン車2台 総計12台
- ・令和5年度 保有台数：ハイブリッド車9台 ディーゼル車1台、ガソリン車2台 総計12台

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

安定的に廃棄物等を収集運搬するため、塵芥収集車両等の適正な維持管理に努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	020	塵芥収集費	事業 3	002	塵芥収集経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 必要物品を準備することによる収集運搬業務の安全かつ正確な実施、並びに事故及び災害の防止
- ・ 内 容 収集運搬業務に必要な手袋、安全靴等の購入及び安全衛生委員会の実施による技能職員の安全確保
会計年度任用職員による粗大ごみ電話受付業務、粗大ごみ証紙の印刷
- ・ SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 労働安全衛生法に基づく安全かつ正確な業務の実施
- ・ 目 標 値 公務中の事故と怪我の件数0件を目指す

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 労働安全衛生法、秦野市証紙条例
- ・ 計 画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率） : 7,479千円
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率） : 9,056千円
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率） : 9,087千円
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・ 令和6年度 技能職員の安全衛生上の作業靴等の購入、粗大ごみ証紙印刷、粗大ごみ電話受付業務の実施、市が管理しているごみ収集場所の維持管理
- ・ 令和7年度 技能職員の安全衛生上の作業靴等の購入、粗大ごみ証紙印刷、粗大ごみ電話受付業務の実施、市が管理しているごみ収集場所の維持管理

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・ 安全作業基準の見直しを行い、現状に合った業務における作業員の安全を確保した。
- ・ 令和7年度夏季に技能職員の作業時に空調服を導入することにより、熱中症対策を行った。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	020	塵芥収集費	事業 3	002	塵芥収集経費

- ・安全作業基準等を現状に合わせて随時見直しを図る。
- ・作業上の必要な物品を購入し、公務中の事故や怪我を防止する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員の任用更新に伴う報酬、職員手当等及び共済費の増額（358千円）
- ・隔年で購入している収集作業員被服の購入年度でないため消耗品費の減額（△647千円）
- ・物価高騰による印刷製本費の増額（13千円）
- ・利用実績に基づく修繕料（維持補修）の減額（△16千円）
- ・ペット死体受入のキャッシュレス決済導入のための手数料による通信運搬費の増額（10千円）
- ・収集業務支援システム（Wooms）賃借料の増額（314千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等） 該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・引き続き、技能職員の円滑かつ安全な収集運搬業務のため必要物品を購入するとともに、市が管理する収集場所の補修等を行う。
- ・安全作業基準等を現状に合わせて随時見直しを行う。
- ・効率的な収集運搬業務及び安全確保のため、必要に応じて収集場所の統廃合を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 18千円（18千円）
- ・内容 ペット死体受入時の決済について引き続きキャッシュレス決済を活用し、市民の利便性向上を図る。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	020	塵芥収集費	事業 3	003	塵芥収集等委託費

事業の概要

1 事業概要〔P〕

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・ 目 的 動物の死体の処理、粗大ごみの収集、不法投棄物の処理などの業務を安定的かつ適正に実施
- ・ 内 容 塵芥収集業務の一部、適正処理困難物の処理及び動物の死体処理の業務委託
- ・ SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 それぞれの業務を適正に実施することによる安定的な廃棄物処理及び公衆衛生の向上
- ・ 目 標 値 秦野市ごみ処理基本計画に定める令和8年度計画値

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・ 計 画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画〔P〕

- ・ 全体計画 事業費 : 143,052千円
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率） : 153,446千円
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率） : 163,266千円
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率） : 千円
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率） :

3 令和6年度・令和7年度の取組内容〔D〕

- ・ 令和6年度 不燃ごみ、粗大ごみ等の収集、並びに適正処理困難物（廃タイヤ等）及び動物の死体処理に係る適正な業務を実施
- ・ 令和7年度 不燃ごみ、粗大ごみ等の収集、並びに適正処理困難物（廃タイヤ等）及び動物の死体処理に係る適正な業務を実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

- ・ 不燃ごみ、缶、蛍光灯等及び粗大ごみ等の収集業務を安定的に実施できている。
- ・ 適正処理困難物や動物の死体処理等について適正に処理することで、公衆衛生の向上を図ることができている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕

- ・ 不燃ごみ、缶、ペットボトル、蛍光灯等及び粗大ごみの収集業務、並びに清掃工場等で処理できない適正処理困難物（廃タイヤ等）の処理及び動物の死体の処理を引き続き委託により実施し、安定的かつ適切な廃棄物処理及び公衆衛生の向上に努める。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業1	050	01040302
事業2	020	塵芥収集費	事業3	003	塵芥収集等委託費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・ 労務単価の上昇に伴う塵芥収集委託業務の委託料の増 (9,887千円)
- ・ 処理困難物処理数の見直しに伴う適正処理困難物処理委託料の減 (△25千円)
- ・ 動物の死体処理の実績に伴う死畜処理委託費の減 (△42千円)

(2) 根拠 (定量データ (過去3か年程度の実績 (申請 (交付) 件数)) 等)

- ・ 令和7年度 塵芥収集委託 : 151,814千円
- ・ 令和6年度 塵芥収集委託 : 140,633千円
- ・ 令和5年度 塵芥収集委託 : 134,257千円

7 今後の取組方針 (事業の必要性、方向性・改善方法) [A]

- ・ 不燃ごみ、缶、蛍光灯等及び粗大ごみ等の収集業務を委託することにより安定的に実施する。
- ・ 適正処理困難物や動物の死体処理処理等について適正な処理委託を継続することで、公衆衛生の向上を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組 (歳入確保・歳出削減)
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	030	生ごみ減量推進事業費	事業 3	001	生ごみ減量推進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 家庭系可燃ごみのうち最も高い組成比率を占める生ごみの減量促進による可燃ごみの減量
- ・内容 各家庭での生ごみ減量・資源化推進のため、非電動式生ごみ処理機の購入に対する補助金の交付、事業者キエーロモニター事業の実施及び生ごみ持ち寄り農園（鶴巻・戸川）の管理
- ・SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 生ごみの減量・資源化を推進することによる家庭から排出される生ごみの減量
- ・目標値 はだのクリーンセンター 1 施設による安定した処理を継続して実施するため、焼却対象量を年間処理能力の秦野市分の基準としている 33,600 t 以下を維持する。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策 314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
 - ・令和 6 年度決算 事業費（進捗率） : 1,059 千円
 - ・令和 7 年度予算 事業費（進捗率） : 1,021 千円
 - ・令和 8 年度予算 事業費（進捗率） : 1,000 千円
 - ・令和 9 年度以降 事業費（進捗率） :

3 令和 6 年度・令和 7 年度の実施内容 [D]

- ・令和 6 年度 生ごみ処理機購入費補助金交付、出前講座等啓発事業、事業者キエーロモニター事業及び生ごみ持ち寄り農園（鶴巻・戸川）の管理を実施
- ・令和 7 年度 生ごみ処理機購入費補助金交付、出前講座等啓発事業、事業者キエーロモニター事業及び生ごみ持ち寄り農園（鶴巻・戸川）の管理を実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

家庭用生ごみ処理機の購入補助により、減量・資源化の啓発及び一定程度の可燃ごみの減量が図られた。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	030	生ごみ減量推進事業費	事業 3	001	生ごみ減量推進事業費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕

- ・はだのクリーンセンター 1 施設での焼却処理体制を安定して継続するため、生ごみの減量を含む市民一人ひとりの意識の向上を図り、生ごみ減量を呼びかける。
- ・非電動式生ごみ処理機の購入費補助金を交付し、引き続き生ごみの減量・資源化を推進する。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

非電動式生ごみ処理機に対する補助台数の削減に伴う減額（△21千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度 21台 75,700円

令和5年度 216台 7,037,000円

令和4年度 222台 7,726,200円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

はだのクリーンセンター 1 施設での焼却処理体制を安定して継続するため、非電動式の生ごみ処理機に対し引き続き補助を実施することで、生ごみの減量・資源化の啓発を継続する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	040	資源分別回収推進事業費	事業 3	001	資源分別回収推進事業費

事業の概要

1 事業概要〔P〕

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 秦野市ごみ処理基本計画の基本理念である「循環型社会の実現を目指す」の実現
はだのクリーンセンター1施設による安定的な処理にむけたごみの減量及び資源化の実施
- ・内容 資源物の収集運搬及び中間処理の適正実施並びに分別の徹底による3R+Renewableを推進
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 可燃ごみの減量及び資源化の推進を図ることによる循環型社会の実現
- ・目標値 秦野市ごみ処理基本計画に定める令和8年度計画値（資源化率26.0%）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律、
秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画〔P〕

- ・全体計画 事業費 :
令和6年度決算 事業費（進捗率） : 479,304千円
令和7年度予算 事業費（進捗率） : 554,589千円
令和8年度予算 事業費（進捗率） : 653,080千円
令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容〔D〕

- ・令和6年度 プラスチック一括回収に伴う再資源化及び収集体制の見直し
資源物の分別収集運搬及び中間処理の業務委託の実施
国が指定する法人を介した資源物の再商品化の実施
シルバー人材センターと協働して「もったいないDay」を実施することで粗大ごみの減量の促進
分別カレンダー、広報はだの特集号、ごみ減量通信並びに分別ガイドの作成及び配布
啓発用パネルの更新
- ・令和7年度 プラスチック一括回収に伴う再資源化及び収集体制の見直し
資源物の分別収集運搬及び中間処理の業務委託の実施
国が指定する法人を介した資源物の再商品化の実施
シルバー人材センターと協働して「もったいないDay」を実施することで粗大ごみの減量の促進
分別カレンダー、広報はだの特集号、ごみ減量通信の作成及び配布
啓発用パネルの更新

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

- ・草木類の分別収集、古紙類の品目の追加や紙袋を利用した出し方の簡素化、資源物ストックハウスの拡充等、資源

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	040	資源分別回収推進事業費	事業 3	001	資源分別回収推進事業費

- 化を推進したことにより、ごみ処理基本計画の計画値を上回る減量が進んでいる。
- ・ 今後は、はだのクリーンセンター 1 施設による安定した焼却処理が求められていることから、プラスチックの資源化を促進等、更なる分別の徹底による可燃ごみの減量及び資源化に取り組む必要がある。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
- ・ リチウムイオン電池の回収拠点追加
 - ・ プラスチック一括回収によるプラスチックの資源化
 - ・ 資源物の分別収集運搬及び中間処理の業務委託による適正な資源化
 - ・ 国が指定する法人を介した資源物の再商品化の実施
 - ・ シルバー人材センターと協働した「もったいない Day」の実施による粗大ごみの減量を促進
 - ・ 分別カレンダー、広報はだの特集号、ごみ減量通信並びに分別ガイドの作成及び配布
 - ・ 啓発用パネルの更新
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
- (1) 増減理由
- ・ 収集物品必要量の見直しによる消耗品費の減額（△1,366千円）
 - ・ 分別ガイド等の印刷部数の削減による印刷製本費の減額（△574千円）
 - ・ 広報特集号の見直し等による通信運搬費の増額（32千円）
 - ・ 中間処理委託業務における処理量等の変更及び長期継続契約更新に伴う単価の上昇による委託料の増額（38,968千円）
 - ・ 再商品化委託単価上昇による増額（1,564千円）
 - ・ 労務単価の上昇に伴う収集運搬の委託料の増額（59,691千円）
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- ・ 令和6年度 資源物処理量：10,089 t（数値は、施策の成果報告書から引用）
 - ・ 令和5年度 資源物処理量：10,647 t
 - ・ 令和4年度 資源物処理量：11,025 t
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
- ・ リチウムイオン電池の回収拠点を各公民館にも拡充することで、収集所に出されてしまう可能性を減らし、火災等のリスク低減につなげる。
 - ・ プラスチック一括回収に伴うプラスチックの資源化を促進するとともに、可燃ごみに混入している資源物についても分別カレンダー、広報はだの特集号、ごみ減量通信、分別ガイド等で周知及び啓発し、更なる分別の徹底に努める。
 - ・ シルバー人材センターと協働して「もったいない Day」を実施することにより、粗大ごみの減量促進に努める。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
- 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- 該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	050	粗大ごみ証紙販売手数料	事業 3	001	粗大ごみ証紙販売手数料

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 粗大ごみ戸別収集を円滑に実施するための店舗及び市指定金融機関における証紙の販売
- ・内容 秦野市証紙条例施行規則に基づき支払う販売店に対する証紙取扱手数料
委託契約に基づき支払う指定金融機関に対する証紙取扱手数料
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 粗大ごみの戸別収集による市民サービスの向上
- ・目標値 証紙取扱店舗の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市証紙条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 997千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,086千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,072千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 証紙販売店及び市指定金融機関へ手数料の支払いを実施した。
市指定金融機関が6月からスルガ銀行に代わり、長期継続契約を締結した。
- ・令和7年度 証紙販売店及び市指定金融機関へ手数料の支払いを実施した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・市指定金融機関が粗大ごみ証紙販売店に対して必要部数を販売できるよう、市指定金融機関に証紙を確実に納品しておく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・請求から支払いまでのスケジュール管理を徹底し、引き続き遅滞なく手数料の支払いを行う。
- ・粗大ごみ証紙受払月報により証紙の売上数を確認することにより、在庫管理を徹底する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	050	粗大ごみ証紙販売手数料	事業 3	001	粗大ごみ証紙販売手数料

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

- ・粗大ごみ証紙の販売実績及び実績額を踏まえた予測に基づく役務費の減額。(△14千円)

(2) 根拠(定量データ(過去3か年程度の実績(申請(交付)件数))等)

- ・令和7年度 14,332枚 1,176,132円(枚数・金額は見込み)
- ・令和6年度 12,674枚 996,804円
- ・令和5年度 13,245枚 1,040,507円

7 今後の取組方針(事業の必要性・方向性・改善方法)〔A〕

- ・粗大ごみ証紙の販売実績を踏まえた在庫管理を行いながら販売を継続する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組(歳入確保・歳出削減)

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	060	粗大ごみ等自己搬入受入業務費	事業 3	001	粗大ごみ等自己搬入受入業務費

事業の概要

1 事業概要〔P〕

(1) 目的・目的・SDGsの該当目標

- ・目的 粗大ごみを環境資源センターで直接受け入れることによる市民の利便性の向上。
木質系粗大ごみの解体による資源化の推進。
- ・内容 環境資源センターにおける粗大ごみ自己搬入の受入、粗大ごみの処理施設への搬入等の業務委託。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 粗大ごみの受入れを円滑に行うことによる市民の利便性の向上、木質系粗大ごみの解体及び再利用可能な粗大ごみの選別による資源化及びリユース。
- ・目標値 秦野市ごみ処理基本計画に定める令和8年度計画値（木質系粗大ごみ351t）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市証紙条例
- ・計画 秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画〔P〕

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 25,950千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 26,926千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 31,347千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容〔D〕

- ・令和6年度 環境資源センターへの粗大ごみの搬入受付、木質系粗大ごみの解体の業務委託。
搬入された粗大ごみの処理施設への搬出に伴う業務委託。
- ・令和7年度 環境資源センターへの粗大ごみの搬入受付、木質系粗大ごみの解体の業務委託。
搬入された粗大ごみの処理施設への搬出に伴う業務委託。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

- ・木質系粗大ごみの解体により資源化が図られるとともに再利用可能な粗大ごみを選別することで、可燃、不燃ごみの減量が図られた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕

- ・引き続き環境資源センターへの粗大ごみの搬入受付、木質系粗大ごみの解体の業務委託並びに搬入された粗大ごみの

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	060	粗大ごみ等自己搬入受入業務費	事業 3	001	粗大ごみ等自己搬入受入業務費

処理施設への搬出に伴う業務委託を行い、安定した市民サービスを提供する。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

- ・原料費高騰に伴う印刷製本費の増額。(51千円)
- ・キャッシュレス決済の運用に伴う役務費の増額。(209千円)
- ・受入れた粗大ごみを処理施設へ搬出するための車両台数の実績に基づく増加及び長期継続契約の更新に伴う労務単価等の上昇による委託料の増額。(1,848千円)
- ・搬入申請書等受付委託業務の人件費高騰に伴う委託料の増額。(2,325千円)

(2) 根拠(定量データ(過去3か年程度の実績(申請(交付)件数))等)

- ・令和7年度 コンテナ搬出 933台(見込み)
受付・解体業務 1,740人(見込み)
- ・令和6年度 コンテナ搬出 916台
受付・解体業務 1,721.5人(早退による半日出勤を含む)
- ・令和5年度 コンテナ搬出 878台
受付・解体業務 1,748.5人(早退による半日出勤を含む)

7 今後の取組方針(事業の必要性、方向性・改善方法)〔A〕

- ・環境資源センターへの粗大ごみの搬入受付、木質系粗大ごみの解体の業務委託及び搬入された粗大ごみの処理施設への搬出に伴う業務委託を行い、継続して安定した市民サービスを提供していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額(うち一般財源) 380千円(380千円)
- ・内 容 キャッシュレス決済の円滑な運用により、市民の利便性向上を図る。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組(歳入確保・歳出削減)

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業1	050	01040302
事業2	070	ほほえみ収集経費	事業3	001	ほほえみ収集経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 戸別収集を実施による市民サービス及び福祉の向上
- ・内容 ごみ及び資源物をごみ収集場所まで出すことが困難な高齢者や障害者等の世帯に対する戸別収集の実施
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 高齢者や障害者等が安心できる在宅生活
- ・目標値 ごみ及び資源物を収集場所に出すことが困難な世帯への支援

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市ほほえみ収集事業の実施に関する要綱
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 1,590千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,326千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,496千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 秦野市ほほえみ収集事業の実施に関する要綱に基づき、ほほえみ収集新規利用希望世帯に対して適正な利用登録を行った。
福祉部との連携強化により、利用希望世帯の現況をより正確に把握することで、効率的な審査を行った。
- ・令和7年度 秦野市ほほえみ収集事業の実施に関する要綱に基づき、ほほえみ収集新規利用希望世帯に対して適正な利用登録を行った。
福祉部との連携強化により、利用希望世帯の現況をより正確に把握することで、効率的な審査を行った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・福祉部と連携しながら、ごみ及び資源物を収集場所に出すことが困難な世帯について、戸別収集を実施するとともに、声かけなどによる安否確認を行うことで、利用者の安心につながっている。
- ・高齢化に伴う対象世帯の増加に対応できる収集体制を確立するため、潜在対象世帯数を把握するとともに、効率的な

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業2	070	ほほえみ収集経費	事業3	001	ほほえみ収集経費

収集方法や利用世帯を精査するなど、支援が必要な世帯に対し、サービスを提供できるよう検討する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・ほほえみ収集利用者の現況調査を実施し、対象世帯のサービスの必要性について検証を行う。
- ・高齢化に伴う収集世帯数の増加に対応できるよう収集体制の見直し等を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・実績に基づく燃料費の減額（△46千円）
- ・車両の新規リース分による保険料の増額（18千円）
- ・車両の新規リースによる使用料賃貸料の増額（198千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和7年度 利用世帯数：189世帯（見込み）
- ・令和6年度 利用世帯数：167世帯
- ・令和5年度 利用世帯数：177世帯

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・高齢化に伴う収集世帯数の増加に対応できる収集体制の見直しのため、福祉部との連携を強化し、潜在対象世帯数を把握するとともに、効率的な収集方法や新規利用希望世帯の受付方法などを検討する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	080	可燃ごみ等収集運搬委託費	事業 3	001	可燃ごみ等収集運搬委託費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 可燃ごみ等の安定した収集運搬業務による生活環境の保全
- ・内容 秦野市職員定員最適化計画に基づく、可燃ごみ、草木類、プラスチックの収集業務の委託
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくり

(2) 効果・目標値

- ・効果 ごみ収集業務の民間委託化の推進による効果（第3次はだの行革推進プラン）
平成28年度～令和2年度：53,623千円
- ・目標値 秦野市職員定員最適化計画に基づき、委託化を推進することにより、可燃ごみ等の収集運搬業務を安定的に行う。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画、秦野市職員定員最適化計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 359,753千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 380,952千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 443,369千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 直営職員の減少に伴い、令和6年4月から1コース委託化（かながわクリーン環境協同組合）
- ・令和7年度 直営職員の減少に伴い、令和7年4月から1コース委託化（かながわクリーン環境協同組合）

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・令和7年4月から「プラスチック一括回収」による製品プラスチックの資源化と毎週の収集に向けて、事前に委託事業者と課題を洗い出し、解決方法の策定を行ったことにより、円滑に事業を開始するとともに、市民サービスの向上を実現した。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

- ・令和5年9月からの長期継続契約の満了（令和8年8月）に伴い、入札を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	080	可燃ごみ等収集運搬委託費	事業 3	001	可燃ごみ等収集運搬委託費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

- ・長期継続契約の更新に基づく委託料の増額（62,417千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和7年度 委託料：377,811千円
- ・令和6年度 委託料：359,753千円
- ・令和5年度 委託料：326,431千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

- ・秦野市職員定員最適化計画に基づき、引き続き委託の可能性を検討する。
- ・可燃ごみ等の収集運搬業務を安定的に行い、市民の生活環境を清潔に保つ。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

所屬	0140200000	環境資源対策課			前々年度決算額	前年当初額	要求額	査定額	増減額	出力段階	現段階
会計	01	一般会計			2,245,873	2,138,764	2,460,494	2,428,890	290,126	目的	20 衛生費
款	04	衛生費			2,245,873	2,138,764	2,460,494	2,428,890	290,126		20 清掃費
項	03	清掃費			2,236,108	2,126,960	2,448,723	2,417,119	290,159		15 その他
目	02	塵芥処理費			1,044,225	1,152,537	1,336,103	1,326,813	174,276		
事業1	050	0 1 0 4 0 3 0 2			1,044,225	1,152,537	1,336,103	1,326,813	174,276	補単区分	単独
事業2	090	事業系一般廃棄物減量推進事業費			651	712	712	706	-6	臨経区分	經常経費
事業3	001	事業系一般廃棄物減量推進事業費			651	712	712	706	-6	主要事業	
事業性質区分	政策的経費事業	重点ヒアリング		主体区分		連結区分1		連結区分2		連結区分3	
新規継続		ハード事業		評価対象		事業区分1		事業区分2		事業区分3	

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	0	0	0	0	377	335	712
本年度予算額	0	0	0	0	377	329	706
増減額	0	0	0	0	0	-6	-6
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	53.4	46.6	100.0

[illegible]

歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名 称		充 当 額
特 定 財 源 の 内 訳	21-04-03-04-02/0140200000/0505 刊行物等売却代	377
	計	377

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	090	事業系一般廃棄物減量推進事業費	事業 3	001	事業系一般廃棄物減量推進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 法令に基づく適正処理の指導等による事業系一般廃棄物の減量
- ・内容 事業系一般廃棄物の適正処理及び資源化に向けた周知・啓発
- ・SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を

(2) 効果・目標値

- ・効果 事業系一般廃棄物の適正処理及び資源化の推進による可燃ごみの減量
- ・目標値 秦野市ごみ処理基本計画に定める令和8年度計画値（事業系ごみ8,230 t）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策314 ごみの減量と資源化の推進）、秦野市ごみ処理基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 : 651千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 712千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 706千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 月量2,000kg以上の事業系一般廃棄物をはだのクリーンセンターに排出している多量排出事業者を中心に収集運搬物を確認する展開検査を実施し、その際一般廃棄物として不適合なものを搬入している場合に指導を行った。
市民からの通報で、事業者（飲食店や事業所）が収集場所やストックハウスにごみを搬入していることが判明した際に、排出事業者に対して指導を実施した。
- ・令和7年度 月量2,000kg以上の事業系一般廃棄物をはだのクリーンセンターに排出している多量排出事業者を中心に収集運搬物を確認する展開検査を実施し、その際一般廃棄物として不適合なものを搬入している場合に指導を行った。
また、「秦野市分別・リサイクル優良事業所等認定制度」により減量等の取組が特に優れた事業者1社1事業所を新たに認定した。（R7.11時点）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140200000	環境資源対策課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	03	清掃費
目	02	塵芥処理費	事業 1	050	0 1 0 4 0 3 0 2
事業 2	090	事業系一般廃棄物減量推進事業費	事業 3	001	事業系一般廃棄物減量推進事業費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]
 - ・事業系一般廃棄物を排出する事業者の業種、業態、事業規模ごとのごみの排出状況を把握し、事業者個々の実態に合った指導や資源化の提案を行う必要がある。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 - ・多量排出事業者への減量及び適正処理の啓発について、継続して取り組む。
 - ・「秦野市分別・リサイクル優良事業所等認定制度」を活用し、事業系一般廃棄物の資源化及び適正処理の周知・啓発に努める。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 - (1) 増減理由
 - 事業系一般廃棄物適正処理啓発のための看板の単価を減額したことによる減額（△6千円）
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 - ・令和6年度 事業系一般廃棄物搬入量：7,841t
 - ・令和5年度 事業系一般廃棄物搬入量：7,867t
 - ・令和4年度 事業系一般廃棄物搬入量：8,134t
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 - ・事業系一般廃棄物の適正処理の周知・啓発及び減量の推進について、県や事業者団体等と連携して取り組むとともに、はだのクリーンセンターにおいて定期的に行っている展開検査の結果に基づき、秦野市・伊勢原市・秦野市伊勢原市環境衛生組合の三者で協力して収集運搬の許可業者及び排出事業者に対する指導を行う。
- 8 その他
 - (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - 該当なし
 - (2) 自然災害対策への取組
 - 該当なし
 - (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - 該当なし